

進路通信

古蔵中学校
進路担当

令和2年
4月20日(月)
1号



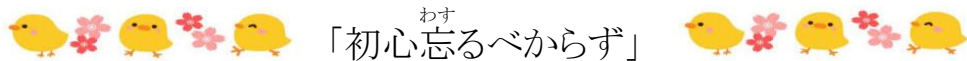
進級おめでとう



進路をきりひろく中学生に

2学年への進級おめでとうございます。1年前、ピカピカの制服を着て入学してきた君たちが、もう2年生です。新型コロナウイルスの影響で休校が続いており、早く新しい友達、新しい先生たちと会いたいという気持ちで授業再開が待ち遠しいと思います。しばらくは一年生の頃の復習や新しい教科書での予習をしておきましょう。

古蔵中学校で1年間過ごしてきたので、「2年生になった」といっても、特に不安はないでしょう。学校生活に慣れるということは、とても大切です。しかし、反面この「慣れる」という事は、人の気をゆるませ、油断させるものです。中学校において2学年がいちばん気のゆるむ学年だといわれています。ですから、慣れた中にも緊張感を忘れずに、「中堅学年」として、入学して来た新1年生の手本となり、また、3年生に協力する実行力のある2年生として頑張ってもらいたいと思います。そこで、新たなスタートにあたり、次の言葉を贈りたいと思います。



「初心^{わす}忘るべからず」

人は時がたつと無意識のうちに初心を忘れてしまうものようです。ですから、常日頃から意識して初心を忘れることのないよう心がけましょう。困難に直面したり、思うような成果があげられないとき、初心に戻る事によって、自分自身を見つめ直すことができ、また、新たな力がわいてくるものです。

この『進路通信』は、皆さんが進路を考える時のお手伝いをするために発行します。進級した皆さんの一人ひとりが自分の進む道をしっかり見つめ希望を持つことができるようにと願いを込めています。時には生徒の皆さんに語り、時には保護者の皆さんへ語ります。生徒と教師、保護者が一緒になって進路について語るができるような、情報を提供したいという目標をもっています。1年間よろしく願います。

進路を考えることは生き方考えること

「進路を選択すること」をただ単に高校を選択、決定していくことと考えてはいませんか。進路を選択するということは、「自分の将来の生き方」を考える事であり、自分が全力をあげて進む道は「ここだ」と決めることです。少しずつでいいので、将来の自分の生き方について深く考えてみましょう。ご家族の皆さんのアドバイスもお願いします。

